



■平成29年度IT支援者養成研修 (この講座は終了しました)

(目的)

障害者のIT支援関連を担当する区市町村職員、障害者福祉センター、障害者就労支援センター等の地域支援者等を対象に、障害者IT支援のための研修を開催し、区市町村(地域)での障害者のIT利活用のための基盤を整備する。



○到達目標

- ・障害ゆえに、情報の利活用が十分にできていない人がいる現状を知ること。
- ・ケースに応じた現実的なIT支援を、新しいテクノロジーとその実践例を踏まえて理解すること。
- ・現場のための相談先や資源、情報のありかを知ること。

○対象者

- (1) 障害者のIT支援関連を担当する東京都内の区市町村の職員
- (2) 障害者のIT支援関連を担当する東京都内の地域支援者
(障害者福祉センター、障害者就労支援センター、福祉施設の職員等)



○研修内容

下記の5つのコースから、地域の課題にあわせて必要とするテーマを選択受講できる。

(1コースから受講可能。2コース以上の受講も可)

1コース定員は10人程度

(申込者数が募集定員を超えた場合は、前年度の同コース未受講者を優先いたします)



(日程)

- コース1...コミュニケーションを支える(2回同内容) 7月7日、7月14日 13:00~17:00
- コース2...意思伝達を支える(2回同内容) 7月21日、7月28日 13:00~17:00
- コース3...操作困難を支える(2回同内容) 8月4日、8月25日 13:00~17:00
- コース4...見えない、見えづらいを支える(2回同内容) 9月1日、9月8日 13:00~17:00
- コース5...理解、認知、記憶を支える(2回同内容) 9月15日、9月22日 13:00~17:00



平成29年度IT支援者養成研修 日程 (①と②は同内容)

日時	テーマ	講座概要	主に対象となる障害特性
①7月7日 ②7月14日	コミュニケーションを支える	コミュニケーション障害をカバーする会話補助等の支援技術(意思伝達装置はコース2)。	聴覚障害・発達障害・言語障害等、会話の補完が必要な方
①7月21日 ②7月28日	意思伝達を支える	意思の表出が困難な方のための、意思伝達を中心とした支援技術。	ALS、脳血管障害の後遺症等の、意思伝達、意思表出が難しい方
①8月4日 ②8月25日	操作困難を支える	情報機器の物理的な操作に困難をかかえるケースでの支援技術。	上肢障害(肢体不自由)
①9月1日 ②9月8日	見えない、見えづらいを支える	視覚的な困難さをかかえるケースでの支援技術。	視覚障害(全盲、弱視等)
①9月15日 ②9月22日	理解、認知、記憶を支える	障害や疾病により、理解や認知、記憶に困難をかかえるケースでの支援技術。	発達障害、高次脳機能障害、知的障害、失語症等

(受講料) 無料

(申込方法) [別紙「平成29年度障害者のIT支援者養成研修受講申込書」をFAX](#)

(申込先及び講習会場)

東京都障害者IT地域支援センター

【所在地】〒112-0006 文京区小日向4-1-6

東京都社会福祉保健医療研修センター1階

※講習会場は3階303演習室

【電話】03-6682-6308

【FAX】03-6686-1277

[戻る](#)

Copyright (C) 2004 Tokyo ITC All rights reserved.